

大会概要



1 基本方針

人生100年時代を迎えている我が国では、健康寿命の更なる延伸と、一人一人の意欲や能力などを最大限発揮できるエイジレス社会の構築が重要視されており、幅広い世代の方が元気に活躍でき、暮らすことができる社会づくりが大切になっています。また、地方においては、人口減少が進む中、高齢期の方の豊富な経験や特技などを活かした地域の担い手としての活躍も期待されるところです。第36回全国健康福祉祭とっとり大会では、こうした観点で、高齢期の方をはじめ誰もがのびのびと、そして生き生きとスポーツや文化活動に親しめ、鳥取県の豊かな自然・おいしい空気の中で、各地域から全国へ世代を超えて交流の輪が広がる大会となるよう、次の目標を掲げて開催します。

【大会目標】

1 いくつになっても生き生きと活動し、心身ともに健康長寿・生涯現役に繋げる大会

人々の生活がいつまでも健康で生き生きしたものになるよう、スポーツや文化活動によって年齢に関わらず心身を鍛え、やる気、自信、達成感、チャレンジ精神、向上心を育み、生きがいを感じながら生涯現役として活躍し続けるきっかけとなる大会とします。

2 共にふれあい、分かち合うことで、人と人とのきずなを強く感じられる大会

同じ目標に向けて多くの人とふれあい、喜びや悔しさ、楽しさや感動を分かち合い、時には互いに切磋琢磨し励まし合うことで、強いきずなを結び人生が充実するための大会とします。

3 世代や立場を超えた地域内外の繋がりによって、持続可能な地域共生社会を作り出す大会

大会を通じ、多くの機会、きっかけ、場面が設けられることで、若い世代への伝達や他地域との親睦、地域産業との触れ合い、地域文化の再発見や継承の促進など、世代や立場を超えて様々な繋がりが生じる中で、各々が互いに新しい刺激を与え合いながら、高齢期の方々も参画する持続可能な地域共生社会を創造するための大会とします。

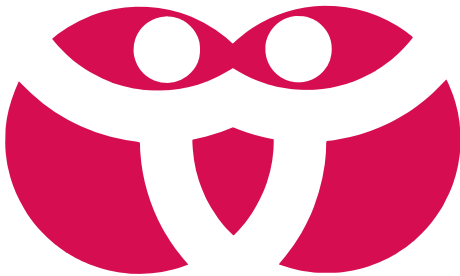
4 ゆったり、たっぷり、ととりの魅力を満喫していただける大会

美しい自然や日本一の星空、各地の名湯、豊かな海の幸と山の幸、癒しの空間“とっとり”を“ゆったり”と“たっぷり”と堪能し、至福の時間を過ごしてもらいながら、鳥取県民の温かい人柄、最高のおもてなしを通して、また鳥取にきたい！と思っただけの心ときめく笑顔の絶えない大会とします。

2 大会の概要



- 1 名称 第36回全国健康福祉祭とっとり大会
- 2 愛称 **ねんりんピックはばたけ鳥取2024**
- 3 主催 厚生労働省、鳥取県、一般財団法人長寿社会開発センター
- 4 共催 スポーツ庁
- 5 テーマ **咲かせよう 砂丘に長寿と笑みの花**
- 6 会期 令和6年10月19日（土）～10月22日（火）
- 7 参加予定人員 延べ約40万人（観客含む）
- 8 シンボルマーク



老いも若きも仲よく、ともに生きていく社会を二人の人物で表しています。また、2つの円は、その組み合わせにより、お互いに助け合い、健康と福祉の輪が未来に向かって広がっていくことを意味しています。

9 マスコットキャラクター



あおやかみじろう

鳥取市青谷上寺地遺跡から出土した人骨をもとに復顔した青谷弥生人「青谷上寺朗」をモチーフにしたキャラクター「あおやかみじろう」を大会PRキャラクターに採用しました。

約1800年の時空を超えて復活した弥生人パワーで、「ねんりんピックはばたけ鳥取2024」を元気いっぱいに応援します。